

～ 登園許可証及び治癒報告書の提出のお願い ～

りんどう幼稚園

幼稚園は、幼児が集団で長時間生活を共にする場です。さまざまな感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぎ、一人一人の子どもが園生活を快適に過ごせるよう、下記の感染症については、お手数ですが登園許可証または治癒報告書の提出をお願いしております。いずれの感染症も感染力のある期間等に配慮し、集団生活が可能になるまで健康状態が十分に回復してから登園させるよう、保護者の皆様のご協力をお願い致します。

① 《登園許可証の必要な病気》 (医療機関にて記入していただいでください)

| 病名 | 主症状 | 登園のめやす |
|-----------------------------|---|---|
| インフルエンザ | 高熱、倦怠感、関節痛、筋肉痛、頭痛、咽頭痛、鼻水、咳 | 発症後5日を経過し、かつ解熱後3日経過するまで |
| 麻疹（はしか） | 高熱、鼻水、咳、結膜充血、目やに、頬粘膜にコプリック斑（小斑点）、全身に赤みの強い発疹 | 解熱後3日経過するまで |
| 風疹 | 発熱、発疹、リンパ節腫脹（特に後頭部） | 発疹が消失するまで |
| 水ぼうそう | かゆみの強い発疹が全身に出現、紅斑から丘疹、水痘、かさぶたの順に変化 | すべての発疹が痂皮化（かさぶた）するまで |
| おたふくかぜ | 発熱、片側または両側の唾液腺・耳下腺・顎下腺の腫れ、痛み | 耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫れが発現してから5日を経過、かつ全身状態が良好になるまで |
| 結核 | 発熱、咳、呼吸困難、チアノーゼ | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |
| プール熱 | 高熱（39℃前後）、咽頭炎、頭痛、食欲不振、結膜炎（結膜充血） | 主な症状が消失後、2日経過するまで |
| 流行性角結膜炎（はやり目） | 流涙、結膜充血、目やに、耳前リンパ節の腫れ・痛み | 感染力が非常に強いいため、結膜炎の症状が消失するまで |
| 百日咳 | 風邪症状から始まり咳が強くなる、咳は夜間に悪化 | 特有の咳が消失するまで、または5日間の抗生物質による治療を終えるまで |
| 腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等） | 激しい腹痛、下痢、血便 | 症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、さらに48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも陰性が確認されるまで |
| 急性出血性結膜炎 | 急性結膜炎で結膜出血が特徴 | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |
| 髄膜炎菌性髄膜炎 | 髄膜炎症状（頭痛、発熱、痙攣、意識障害、髄膜刺激症状） | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |

※新型コロナウイルス感染症は、今後感染症法上の分類引き下げが実施される見通しですが、当面は現在の対応を継続することとします。引き下げられた段階で、改めて園としての対応をお知らせします。皆様には引き続き、感染対策の継続をお願い致します。

② 《治癒報告書の必要な病気》（保護者が記入してください）

| 病名 | 主症状 | 登園のめやす |
|------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 溶連菌感染症 | 発熱、咽頭痛、嘔吐、ときにかゆみのある発疹、リウマチ熱・腎炎の併発 | 抗菌薬内服後、24～48時間経過するまで |
| マイコプラズマ肺炎 | 咳、発熱、頭痛等の風邪症状が進行し、特に咳が激しくなる | 発熱や咳が治まるまで |
| 手足口病 | 水痘性の発疹が口腔内や手足、膝などに出現、口内炎 | 発熱や口腔内の水痘・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれるまで |
| リンゴ病 | 軽度の風邪症状の後、網目状の紅斑（顔面・両頬・手足）が出現 | 全身状態が回復するまで |
| ウイルス性胃腸炎 （ノロ・ロタ・アデノウイルス等） | 悪心、嘔吐、腹痛、下痢、発熱 | 嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれるまで |
| ヘルパンギーナ | 高熱、咽頭痛、口内に水痘・潰瘍が出現 | 発熱や口内の水痘・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれるまで |
| RSウイルス | 発熱、鼻水、咳、喘鳴、呼吸困難 特に乳幼児が肺炎になりやすい | 呼吸器症状が消失し、全身状態が回復するまで |
| 帯状疱疹 | 水痘が神経に沿って片側に出現、神経痛・刺激感がある | すべての発疹が痂皮化するまで |
| 突発性発疹 | 高熱が3～4日続いた後、解熱とともに体幹部を中心に鮮紅色の発疹が出現 | 解熱し、機嫌がよく全身状態が回復するまで |

③ 《その他、注意を要する感染症》（経過を十分観察し、感染予防に努めてください）

| 病名 | 主症状 | 登園のめやす |
|-----|---|---|
| とびひ | 湿疹や虫刺されの痕に細菌感染を起こし、びらんや水痘病変を形成、かゆみを伴い膿疱が広がる | 治療を開始し、皮疹が乾燥しているか湿潤部位がガーゼで被覆できる程度のものになるまで |
| 水いぼ | 手足や体幹の皮膚に、表面が滑らかで中心にくぼみのあるいぼが数個～数十個出現 | 治療し摘除するか、掻き壊さないようにして、傷から浸出液が出ているときはガーゼで被覆する |

登園許可証（医師記入用）

認定こども園 りんどう幼稚園長 様

園児氏名 _____

病名【 _____ 】

症状が回復し、集団生活に支障がない状態となったので、 _____ 年 _____ 月 _____ 日から
登園可能と判断します。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

医療機関 _____

医師名 _____ ⑩またはサイン

〈登園許可証（医師が記入したもの）が必要な感染症〉

| 病名 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|----------------------------------|--|---|
| インフルエンザ | 症状がある期間(発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い) | 発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 3 日経過するまで |
| 麻疹 (はしか) | 発症 1 日前から発疹出現後の 4 日後まで | 解熱後 3 日経過するまで |
| 風疹 | 発疹出現の前 7 日間から後 7 日間程度 | 発疹が消失するまで |
| 水ぼうそう | 発疹出現 1 ~ 2 日前から痂皮形成まで | すべての発疹が痂皮化 (かさぶた) するまで |
| おたふくかぜ | 発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日 | 耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫れが発現してから 5 日を経過、かつ全身状態が良好になるまで |
| 結核 | | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |
| プール熱 | 発熱、充血等の症状が出現してから数日間 | 主な症状が消失後、2 日経過するまで |
| 流行性角結膜炎 (はやり目) | 充血、目やに等の症状が出現してから数日間 | 感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失するまで |
| 百日咳 | 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで | 特有の咳が消失するまで、または 5 日間の抗生物質による治療を終えるまで |
| 腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111 等) | | 症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、さらに 48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも陰性が確認されるまで |
| 急性出血性結膜炎 | ウイルスが呼吸器から 1 ~ 2 週間、便から数週間 ~ 数か月排出される | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |
| 髄膜炎菌性髄膜炎 | | 医師が感染の恐れがないと認めるまで |

治癒報告書（保護者記入用）

認定こども園 りんどう幼稚園長 様

園児氏名 _____

病 名【 _____ 】

_____年 _____月 _____日、医療機関名「 _____ 」において
上記と診断されました。その後、療養を経て病状が回復し、下記の表に照らして感染の恐れがなくなり、集団生活に支障がないと判断しましたので、登園させますのでお願いします。

_____年 _____月 _____日

保護者氏名 _____ ⑩またはサイン

〈治癒報告書（医師の診断を受け、保護者が記入したもの）が必要な感染症〉

| 病 名 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|------------------------------|---|--------------------------------|
| 溶連菌感染症 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日 | 抗菌薬内服後、24～48時間経過するまで |
| マイコプラズマ肺炎 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日 | 発熱や咳が治まるまで |
| 手足口病 | 手足や口腔内に水痘・潰瘍が発症した数日間 | 発熱や口腔内の水痘・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれるまで |
| リンゴ病 | 発疹出現前の1週間 | 全身状態が回復するまで |
| ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノウイルス等) | 症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが、数週間ウイルスを排出しているので注意が必要) | 嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれるまで |
| ヘルパンギーナ | 急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要) | 発熱や口内の水痘・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれるまで |
| RSウイルス | 呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状態が回復するまで |
| 帯状疱疹 | 水疱を形成している間 | すべての発疹が痂皮化するまで |
| 突発性発疹 | | 解熱し、機嫌がよく全身状態が回復するまで |